

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学院設置の理念に基づく教育目標の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「研究科ホームページにおける研究科の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修の手引きにおける研究科の理念・目的・教育目標の明示の有無」「研究科ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討状況」	B	B	B	A	
2. 大学院の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、改善を図る。	→「研究科の教育課程を常に検討する委員会の有無と検討状況」「学生による授業評価の実施率」「学生による授業評価を受けた授業改善の方策の作成と公表の実施率」	C	B	B	B	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	研究科再編のため、ディプロマ・ポリシーを研究科委員会で検討し、必要な修正を行った。研究科の理念・目的・教育目標およびディプロマ・ポリシーをホームページおよび履修の手引きに掲載した。またホームページの内容を一新する予定である。
目標2	研究科再編のため、カリキュラム・ポリシーを研究科委員会で検討し、必要な修正を行った。その内容をホームページおよび履修の手引きに掲載した。また、学生による授業評価において、カリキュラムと学習効果の満足度に関する質問項目を設けている。それをどのように改善方策へとつなげていくかを検討する予定である。
備考	